

食べて飲んでみんなで「うい～」

10月4日5日 温泉街で「バル」を開催

お得なチケットで飲み・食べ歩きなどができる「伊豆長岡温泉よりとも政子バル」が、伊豆長岡温泉街を中心に開催されました。参加者は、普段よりお得で手軽な特別メニューなどを楽しみました。

同バルは今回で4回目。温泉への入浴など温泉場ならではのサービスが選べるのが特徴です。

▶アクシスカつらぎの広場で行われたセレモニー



文化交流の証に「馬頭琴」を受領

10月4日 モンゴル記念公演を開催

静岡県とモンゴル国の文化交流の一環として、同国政府から市内全小学校に伝統楽器「馬頭琴」が贈られることになり、アクシスカつらぎで受領式と記念公演が行われました。各学校の代表者は、同国民族歌舞団の団員から手渡しで馬頭琴を受領しました。

記念公演では馬頭琴の演奏や歌、踊りなどが披露され、訪れた人を魅了していました。

◀来賓立ち合いの下、馬頭琴を受領する各学校の代表者



障がい支援する施設に向け

10月8日 安全祈願祭が行われました

平成27年度の開所を目指す伊豆の国市児童発達支援センターの建築工事安全祈願祭が、建築工事の施工業者主催により建築場所の葦山東幼稚園跡地（多田地区）で行われました。

同センターは発達障がい支援が必要になった子どもが、身近な地域で通所しながら専門的な療育支援や相談などが受けられるよう、市が建設するものです。

▶小野市長や地元区長など約30人が出席した祈願祭



議員の役割をもっと知って

10月15～17日 議会報告会が開かれました

議員の役割を理解してもらうこと、市民の意見を聞き要望などを行政に反映することを目的に、議会報告会が開催されました。アクシスカつらぎなどを会場に、3日間で94人の市民らが参加しました。

今年は「子育て支援について」「観光振興について」をテーマに、市議会議員による報告や参加市民との意見交換などが行われました。開催は昨年に続き2回目。

◀議員の説明に耳を傾ける参加者（15日：アクシスカつらぎ）



世界遺産登録に向け

いよいよ大詰め

9月26日 イコモスによる現地調査

ユネスコ世界遺産委員会から調査を委託されているICOMOS（イコモス）による現地調査が、葦山反射炉で行われました。調査は葦山反射炉の世界遺産としての価値や保存状況などの確認を目的に行われ、調査員は現地で市職員による説明を受けました。

調査は葦山反射炉を皮切りに、「明治日本の産業革命遺産」の23構成資産すべてを対象に行われました。

今後、平成27年5月ごろにはイコモスによる調査結果の勧告が行われます。翌6月ごろに、ユネスコ世界遺産委員会は世界遺産登録の可否について最終決定を行います。



▲市職員による説明を受ける調査員（左から2番目）▶厳重な取材規制の中、撮影エリアからカメラを向ける報道陣



郷土の偉人「坦庵公」を楽しく学ぶ

9月20日 歴史探訪坦庵フェアを開催

郷土の偉人「江川太郎左衛門英龍（坦庵公）」を楽しく学ぶイベント「伊豆の国歴史探訪坦庵フェア2014」を、葦山時代劇場日だまり広場をメイン会場に開催しました。

会場では、鉄を溶かす反射炉にちなんだ「子ども鉄物教室」や、全国で最初にパンを焼いたとされる坦庵公にちなんだ「有名パンの販売」などを行いました。

◀踊りや演奏が披露されたステージ



過去最高の967人がサイクリング

9月27日28日 狩野川100kmサイクルが開催

中島運動公園特設会場を発着点に、「第15回狩野川100キロサイクリング」が行われ、風光明媚な秋の狩野川を自転車に乗って楽しみました。

このイベントは、2000年に行われた伊豆新世紀創造祭の一環として始まりました。年々参加者は増加し、今年は過去最高の967人で盛り上がりしました。

▶城山の麓を爽快に走る参加者

